

帝王切開を受けられる方へ

主治医: _____

性別: _____ 生年月日: _____ 様 病名・症状: _____

担当医師: _____

病棟 _____ 号室 _____ 他に考えられる病名: _____

担当看護師: _____

経過月/日	入院日	手術当日
食事	妊婦食が出ます。 (:)から絶食です。何も食べないでください。	(:)から絶飲食です。何も食べたり飲んだりしないでください。
安静度	院内自由です。処置等ありますので、病棟を離れる場合は看護師にお知らせください。 	手術前は病棟内を自由に歩けます。
清潔	シャワー浴ができます。	点滴開始後は、シャワー浴はできません。
排泄		
薬剤	・入院案内に入っている「お持ちのお薬をご持参ください」をお読みになり、現在服用中のお薬・お薬手帳があれば必ずご持参ください。 ・入院中、薬剤師による服薬指導をします。	・(:)に手術前の点滴を行います。 ・(:)に手術前の抗生剤の点滴を行います。
検査処置	・手術前日、または当日に手術部位の除毛をします。 ・深部静脈血栓症予防用の弾性ストッキングのサイズを測定します。 ・分娩監視装置をつけます。	・6時頃に浣腸をします。その後、希望があればシャワー浴ができます。 ・分娩監視装置をつけます。 ・点滴前に手術衣に着替え、深部静脈血栓症予防用の弾性ストッキングをはいてください。 ・医師による診察をします。 ・(:)手術室へ行きます。
説明指導 (リハビリテーション等含む)	・病棟案内後、入院中の連絡先等を確認します。 ・手術前のオリエンテーションと深部静脈血栓症肺塞栓症予防について説明します。 ・手術室の看護師が術前訪問に伺う場合があります。 ・入院中の貴重品の管理について説明します。 ・マニキュア、ペディキュア、ネイル類、指輪、ネックレス、ピアス等、装飾品は外してください。 ・転倒転落防止及び治療等のための行動制限について、「入院中の治療及び療養上での安全について」をお読みください。 ・認知症・せん妄サポートチームの介入について、「認知症・せん妄サポートチームについて」をお読み下さい。 ※不妊手術を受けられる方は同意書を提出してください。 ・安静度に合わせて適度な運動を心がけましょう。	・手術室へ行く前にまでに、入れ歯、化粧、眼鏡、コンタクトレンズ、装飾品等、外してください。髪の毛の長い方は2つに結んでください。 ・おっぱいの手入れ・吸わせ方についてお話しします。 ・出産後すぐから授乳を始めます。当院では自律授乳制としています。 ・赤ちゃんが欲しがるときにおっぱいを吸わせましょう。おっぱいを吸わせることで母乳が早くよく出るようになります。 
その他	〈手術中のご家族の待機場所について〉 ・病室、または病棟の待合室でお待ちください。病室を離れる時や8階食堂で待たれる場合は看護師にお知らせください。 ・貴重品の管理をお願いします。 〈面会時間について〉 11:00~13:00 15:00~20:00 ・赤ちゃんがお部屋にいます。大勢、長時間の面会はできるだけ控えましょう。感染予防のため、面会の方は手指を消毒してから赤ちゃんに触れてもらいましょう。 ・新生児室は、感染予防のため赤ちゃんのパパとママまでの入室可としています。祖父母など育児をお手伝いして下さる方は入室可能です。ただし、お子さんの入室はご遠慮ください。	
メモ	・産褥セットを入院時にお渡しします。ご自分で準備されている方はお知らせください。	

※これは基本的なスケジュールです。患者様の出産後の経過や赤ちゃんの状態などにより変更することがあります。

経過 月／日	手術当日 術後 /	術後 1 日 /
食 事	絶飲食です。麻酔から覚めたら看護師の付き添いのもと、 飲水します。	朝から粥食が始まります。
安 静 度	足のしびれが取れた頃からベッド上で寝返りや下肢の運 動をします。	歩行ができれば尿の管を抜きます。尿の管が抜け、問題なければ病 棟内を自由に歩けます。体調に合わせて体を動かし、赤ちゃんのお 世話を始めましょう。
清 潔	シャワー浴はできません。	看護師がお手伝いして蒸しタオルで体を拭きます。
排 泄	・尿は管(カテーテル)から出ています。	・歩行できることを確認した上で、体調に合わせて尿の管を抜きます。 その後、尿量観察のため尿量を測ります。
薬 剤	・手術後の点滴を行います。 ・希望があれば、飲水後より痛み止めの内服ができます。 ・状態によっては注射、もしくは薬の内服が必要となります。	・子宮収縮剤の内服を始めます。 ・点滴を朝2本、夕1本行います。 -----> ・傷の痛みや後陣痛がある時は鎮痛剤の内服ができます。 ・子宮の戻りをよくするためにも便秘は禁物です。手術後、排便がな ければ下剤の内服や坐薬で排便を促します。
検 査 処 置	・希望者のみ赤ちゃんの出生後、早期母子接触を行いま す。 ・背中に痛み止めのチューブが入っています。 ・手術中から酸素マスク、心電図モニターを付けますが、 手術後状態が安定したら外します。 ・深部静脈血栓症予防のため手術中から足にポンプが付 く場合があります。 ・帰室後、適宜検温、全身状態の観察やナプキン交換、体位 交換を行います。	・血液検査をします。 ・医師による診察をします。 ・医師の許可があれば、足のポンプ、弾性ストッキング等の使用を中 止します。
説 明 指 導 (リハビリ テーション 等含む)	・医師よりご家族の方に手術の結果や今後のことについて 説明があります。 ・背中に入っている痛み止めの使い方を説明します。 ・麻酔から覚めたら30分に1回、下肢の運動をしましょう。 ・痛みや吐き気など、つらい時はいつでもお知らせください。	・手術後初めての歩行は必ず看護師が付き添います。肺塞栓症は 手術後初めての歩行時に発症する場合がありますので、気分不良が あればお知らせください。 ・下肢の運動は、エコノミークラス症候群の予防運動です。今後、長 時間の旅行の際には思い出して実践してください。
ベ ビ ー 	・様子を見るため、翌朝まで授乳時以外は保育器に入ります。 ・新生児室の窓越しに赤ちゃんとも面会して頂きます。	・ビタミンK ₂ シロップを飲みます。 ・1日1回沐浴をします。 ・診察後、保育器から出て母子同室となります。
そ の 他	<母子同室について> ・当院では母子同室としています。赤ちゃんが泣いたらおっぱいをあげたり、オムツを替えたりしながら 育児に慣れていきましょう。赤ちゃんはママと一緒にいると安心します。 ・ママが疲れている時、診察時などは、新生児室で赤ちゃんをお預かりします。	
メ モ		

※これは基本的なスケジュールです。患者様の出産後の経過や赤ちゃんの状態などにより変更することがあります。

経過 月/日	術後2日 /	術後3日 /	術後4日 /
食 事	朝は粥食が出ます。 昼から妊婦食が始まります。	妊婦食が出ます。 差し入れなどの制限はありませんが、傷みやすい食べ物などは控えましょう。 また、乳房の状態によって控えた方がよい食べ物もありますのでご相談ください。	
安 静 度	背中のチューブが抜け、問題なければ院内を自由に歩けます。体調に合わせて体を動かし、赤ちゃんのお世話をしましょう。 授乳の合間はしっかり休息をとりましょう。		
清 潔	背中のチューブが抜け、医師の許可があればシャワー浴ができます。	シャワー浴ができます。	
排 泄	・尿量観察のため尿量を測ります。	・8:00に尿量測定を中止します。	
薬 剤	・点滴を朝2本行います。 ・子宮収縮剤の内服があります。-----> ・状態によっては注射、もしくは薬の内服が必要となります。-----> ・傷の痛みや後陣痛がある時は鎮痛剤の内服ができます。-----> ・子宮の戻りをよくするためにも便秘は禁物です。手術後、排便がなければ下剤の内服や坐薬で排便を促します。----->		
検査 処 置	・助産師、看護師が傷の状態、子宮の戻り具合等を確認していきます。-----> ・背中のチューブを抜きます。		
説 明 指 導 (リハビリ テーション 等含む)			
ベ ビ ー	・入院中に小児科医師の診察が月曜日、 または木曜日にあります。 ・おへそのクリップを取ります。	・希望者のみ生後3日以降に新生児聴覚 検査(AABR)を実施します。	・黄疸の血液検査があります。 ・新生児室で沐浴見学をします。 ※パパや育児を手伝われる方で沐浴の見 学や実施を希望される場合は、早めにお 知らせください。
そ の 他	<p>〈出生証明書について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生後、病院で準備します。記入内容について間違いがないか確認して頂きます。 その後、1階支払窓口でお受け取りください。書類代は別途料金がかかります。 ・受け取り時間は9:00～17:00(日・祝日を除く)です。 <p>〈出生届について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生後14日以内に、出生証明書に必要事項を記入して、本籍地・住民登録地・出生地、または出生届提出義務者の滞在地のいずれかの役所に提出してください。 持参するもの・・・出生証明書・印鑑・母子手帳・国民健康保険証(加入者のみ) <p>〈傷のテープの貼り方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷に貼るテープは、週に1回貼り換えましょう。はがれた時や汚れた時にも貼り換えるようにしましょう。 ・傷が治るまで3ヶ月程度継続するとケロイド予防になります。 ・方法 ①テープを4cm程に切る ②傷に外向きの力が加わらないよう、傷の周りの皮膚を内側に寄せるようにしてテープを貼ります。 ③テープを少し重ねながら貼り、傷が全て隠れるように貼りましょう。 		
メ モ			

※これは基本的なスケジュールです。患者様の出産後の経過や赤ちゃんの状態などにより変更することがあります。

経過 月/日	術後5日 /	術後6日 /	術後7日(退院日) /
食 事	妊婦食が出ます。 差し入れなどの制限はありませんが、傷みやすい食べ物などは控えましょう。 また、乳房の状態によって控えた方がよい食べ物もありますのでご相談ください。		
安 静 度	体調に合わせて体を動かし、赤ちゃんのお世話をしましょう。 授乳の合間はしっかり休息をとりましょう。		
清 潔	シャワー浴ができます。		
排 泄			
薬 剤 	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮収縮剤の内服があります。 ・状態によっては注射、もしくは薬の内服が必要となります。 ・傷の痛みや後陣痛がある時は鎮痛剤の内服ができます。 ・子宮の戻りをよくするためにも便秘は禁物です。手術後、排便がなければ下剤の内服や坐薬で排便を促します。 		
検 査 処 置	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師、看護師が傷の状態、子宮の戻り具合等を確認していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液、尿検査をします。 ・医師による退院診察をします。その時、傷のクリップを取ります。 	
説 明 指 導 (リハビリ テーション 等含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・退院指導があります。 ・1ヶ月健診を予約します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な食習慣、適度な運動、喫煙・飲酒習慣の改善などを実践し、生活習慣病を予防しましょう。
ベ ビ ー 	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性代謝異常検査をします。 ・ビタミンK2シロップを飲みます。 ・新生児室で沐浴実施をします。 		
そ の 他	<p>〈退院について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院時間は原則午前中となっています。迎いの都合などで午後になる方はお知らせください。 <p>〈退院後について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月健診までは無理せず安静に過ごしましょう。 ・入浴は、1ヶ月健診まではシャワー浴にしましょう。 ・傷やお腹が痛む、悪露が多い、または全く出ない、38℃以上の熱がある等あれば電話連絡してください。 ・退院1週間後頃、電話訪問を行っています。また、母乳外来を火・水・金曜日の午後行っています。退院指導の際、ご希望を伺います。 ・心配事、ご相談がありましたら土谷総合病院 産婦人科外来、または夜間・休日受付にお電話ください。 電話(082)243-9191(代表) 		
メ モ			

※これは基本的なスケジュールです。患者様の出産後の経過や赤ちゃんの状態などにより変更することがあります。